

☆作業日あれこれ

8月の定例作業日は、お盆の掛かりの13日、天候はギラギラの快晴、高校野球は午前中に当県出場校の2回戦(対戦相手は帝京)という日でありました。このような日とあってか9時の時点での参加者は少なく、少人数でのスタートです。観察会は木道沿いで実に気の毒な名前と言う他ないワカバ(尻糞蔓)の白くてかわいらしい花からです。臭ってみたけれど臭わないという声もありました。



が、茎や葉を傷付けた時に分泌液が分解して臭うのでこの名前がつけられたようです。次はハゲロウ(葉黒草)のこれまた小さな花です。野鳥観察壁の近くにはそれらに比べれば艶やかなヒナギク(檜扇)が咲いています。花は形も面白く色もあざやかで矮性に改良された園芸種もあります。観察会ではカンバナなどと同じ史前帰化植物扱いをしていましたが、気になり調べてみるとインドから中国、日本にかけて分布する在来植物という見方が正しいようです。この森では、生態系調査の際には近隣の森にはあるのに見つからず、名前がよく似たヒメヒナギク(明治期からの帰化植物、形から金魚草と呼ばれている)ばかりで、残念な思いをした花でもあります。水辺の林では遅いハハコ(合歓の語源:夜になると葉が閉じてぴたりと合わさることから、こうしたことの詳しい話は焼鳥名人まで...)の花が咲いていましたが、豆科植物ですので見慣れた豆のさやも付いていました。豆科植物は、根粒細菌との共生により空気中の窒素を利用してやせ地でも生育しますので、崩壊地や山火事跡の裸地の植生復旧に利用(沖縄、小笠原諸島のギンネ、瀬戸内の島のエシダなど)されましたが、現在では生態系に与える影響(植生の単調化、土地の富栄養化など)が問題になっています。身近な豆科植物でも、当地の飛行場跡に防風林として植えられたニセアカシア(針槐)が**要注意外来生物**リストに記載され、生態系に与える影響を指摘されています。しかし、癖がなく大量に収穫できる蜜源として伐採・駆除には養蜂業者などの反対があり、以前の河辺

林通信で書いたオキナグサなど規制の対象となる**特定外来生物**には指定できず、駆除や栽培について法的な拘束力はありません。同様の例としてはオキナグサの指定の際にも、釣具業界、遊漁者などの反対で一時棚上げされたケースがあります。対岸ではニセアカシアの白い花が目立ちますが、幸いにこの森にはなく、見つければ駆除するつもりです。ちなみに要注意外来生物リストに記載されている森で馴染みの植物には、セイタカアワダチソウ、リンドウ、キョウフ、ハルジオン、外来タネポポ類、オキナグサなどがあり、記載理由や注意すべき事柄は種ごとに異なっています。



モリイコの様子

ストレッチが終わる頃には親子連れなども増え、参加者は最終的に40人弱となり、予定していた作業すべてを実施することができました。子どもから大人まで賑やかだった作業は水辺の林周辺でのササ刈りなどでした。また台風で倒れた直径50cm 余りのイザナグサの根元の処理が残っていましたが、玉切りと足場板を使って軽トラの荷台に載せる作業は、超ベテラン勢が中心になってやっていました。チェーンソーの刃渡りよりも幹の直径の方が大きく、自重で切口が塞がってチェーンソーが身動きできない対策に楔も打ち込まねばならずベテランの技が必要です。軽トラへの積載も息が合わねば荷が暴れて足が下敷きになりかねず大変です。一方この日のササ機械刈りは、遊林会発足の地、交流広場と称しているかつて野外でお昼を食べていた場所です。落葉樹の高木中心に管理しているこのエリアは、夏に林床の草を刈らなければ多様な下層植生が維持できません。久しぶりに草刈名人の姿がありました。8月のお昼はハムスト村突撃隊長の焼きそばが定番ですが、氏は午後には用事があるということでたっぷりと焼いて昼を待たずにお帰りになされました。なんとも歹な方であります。もちろん、焼きそばは大好評、おいしくいただきましたよ。焼きそば以外にも多彩な料理も昼食班によって作られ、8月の午後は無礼講ですので申し分のないお酒のあてとなりましたが、この日は盆の掛かり、クマもお昼のミーティングを終え延長戦の途中で退出せねばなりませんでした。

9月28日(水曜日) 週日活动 森の居酒屋は9月7日 午後7時頃～

9月10日(第2土曜日) 9時～(遅刻可)

主 催 者 : 遊 林 会

連絡先 (遊林会事務局): 滋賀県 東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210

URL : <http://www.yurinkai.org/>

E-mail : ikimono@e-omi.ne.jp

森のブログは「かわべえブログ」で検索!

やや暑さもましになった第4水曜日は若手も含めて23名が参加、水曜作業日としては久しぶりに2班に分かれての作業です。1班は枯れ木の処理と竹の間伐、もう1班はサ機械刈りです。

今回処理した枯れ木はナラでしたが、もともとかなり木が弱っていたのでナラ枯れで枯れたのかどうかはつきりしません。現時点では今年この森でナラ枯れで枯れたと言える木はこの木を除く2本のみ（8月第2週のわずか数日の間に2本いっぺんに枯れた）、いずれも伐採済みです。昨年の25本という被害に比べると今年はましと言えますそうですが、この地域でナラ枯れが収束に向かっているのではなく、近隣の山々では今年もかなりの被害が出ています。この森ではナラ枯れ木はすぐに伐採しているので、被害の拡大を防いでいるのだと思います。

一方、この森では木が枯れたからといってすぐに伐採はしません。枯れた木はコナラ（キツキ）をはじめいろいろな生き物が利用する場となるからです。しかしすぐに切ってしまうとねばならない場合が2つあって、ひとつはナラ枯れで枯れた場合、もうひとつは歩道の近くなどで枯れて放置すると危険な場合です。今回の枯れ木の処理は後者に当たります。しかしベテラン組にかかれればこの処理はあっという間に終わってしまい、続いての竹の間伐もすぐに終わり、伐採済みのナラ枯れ木の薪割りをしていただきました。

サ機械刈りの方は、ドングリシーズンを前に子どもたちがドングリ拾いを楽しめるようにと林内のサを刈りました。作業中の中には、台湾から日本の高校に留学中で、この夏休みに森でインターシップとして活躍してくれている陳 世華（ちん せいか）君もいて、初めての草刈り機体験に緊張しながらも汗びっしょりでがんばってくれました。後で感想を聞くと「楽しかった」ということです。

お昼にはいつもの通りご馳走が並び、魚2種の南蛮漬、黒豆の枝豆、オクラ、冷や奴、かき玉汁、焼きナスなどで、焼きナスなどは奪い合いの様相を呈していました。

☆8月の木ままクラブ

気軽に気ままに木曜日に活動する木ままクラブ。8月は1回の活動を行いました。

8/18 11人 ナラ枯れで枯れたナラ2本を伐採しました。モジの林前と交流広場内のものでした。9月は1日、15日、22日が活動日です

☆ナラ枯れの様子は…？

夏になると気にかかるのはナラ枯れの状態。今年は去年に比べて被害はちょっと少なめなのですが、箕作山の枯れ具合が目につきます。瓦屋禅寺、太郎坊宮、小脇山、そして船岡山と被害は広がっています。去年かなり大きな被害

があった琵琶湖側の箕作山も大きな被害が続いています。また、今年あたりから枯れた木からカシタケという汁に触るだけで激しい炎症が起き、致死量はたったの3g（1円玉3枚）という猛毒のキノコが発生しているようです。東近江市内で赤く、細長いキノコを見た方はご一報下さい。

☆河辺いきものの森スタッフルーム情報

相も変わらずインジャールームは冷房なし、インターンに来てくれた滋賀県立大学の山田さんや世華君も含め、8人にパソコンが3台、熱気で外の方が涼しいインジャールームです。恒例のクイズラリーや上級編は約150名の参加がありました。去年あたりから、世間では熱中症が騒がれはじめ、暑い中、森にきて遊ぶといったことは避けられるようになってきたのか、入場者は減る傾向にあります。発汗能力を慣らしておくのも子どもにとって必要だと思うのですが…それでも半日以上かかる上級編を20問解き、そしてまた半日かかる超上級編を楽しんでくれる子どもたちもいてくれます。暑さに負けず、森を楽しんでもらえることは嬉しいことです。その他、夏休みのスペシャルイベントは計6つ、すべて無事に終了しました。

キツキコース60人、フクロコース50人、イヌコース20人、計130人の子どもたちを対象にしたやまの子キャンプも無事に終了、東近江のケーブルテレビでその様子が放映されています。それぞれの参加年齢に合わせ、かつ永源寺の自然を満喫できるようなプログラムが人気のキャンプです。どのコースも大きな怪我なく、楽しんでくれました。

☆モリイコの子どもたち

モリイコ！も3回目が終了して8月下旬からは4回目の活動がスタートしました。3回目は「川の探検」がテーマでした。午前中は竹で箱メガネを作ってみて水中を覗いてみたり、ザリガニ釣りをしました。ザリガニはもう数が減っていますがやはり大人気で、みんな熱中して釣っていました。午後は水路の探検で、水辺の林からハリヨ池までずっと歩いてみました。暑い時期だったので、ハリヨ池の冷たい水に子どもたちは大喜びでした。

☆9月の作業は…

7月と8月の作業は午前中のみ、9月からは午後からの作業も再開します…が、残暑厳しい折ですからどうなるかは天候次第。作業は草刈りをはじめ
昼食は久々の炊き込みごはんと美味しい具たくさん豚汁です。

容器やコップは数に限りがあります。食器の持参をお願いします！

発行者：東近江市建部北町 河辺いきものの森リサーチセンター内 遊林会 世話役 武藤精蔵 Tel 0748-20-5211

この用紙にはkikitoペーパーを使っており、滋賀県湖東地域の森の保全に寄与しています